

高校生メッセージ

秋のこどもまんなか月間「子供・若者育成支援推進強調月間」in Kyotoに、高校生を代表して京都府立南陽高等学校から、生徒会と放送部とマジック部が参加しています。

私たちの生きる現代社会において、誹謗中傷は深刻な問題となっています。これは他人に対して悪意をもって虚偽の情報や攻撃的な発言をする行為であり、特に子供と若者の自尊心を傷つけ、心身ともに深刻な影響を与える絶対に許されない行為です。

誹謗中傷による痛ましい事件が起きる中で、社会はそれらの防止を声高に叫ぶようになりましたが、「誹謗中傷ホットライン」に寄せられた被害件数は2年前に2000件を上回り、昨年度、そして今年度も2000件を超過するような予測がたてられています。

2000件と聞いて、少ないと思われたかもしれませんが、この2000という数字はあくまでも、報告された被害件数なので実際にはこの何倍も、何十倍もこの世の中にはあるはずです。

若者達が心から楽しんで、SNS等を使うことで、自分達にとって素敵な思い出を作り、将来の糧にできるような環境を作ることが大事だと思います。誹謗中傷のないコミュニケーションは、人々がお互いを尊重し、支え合う環境を構築することができます。このような環境で過ごす子供や若者を始め、人々は、安心して自己表現し、成長することができます。私は、人が自己表現することで、その人にとって人生がより自由により豊かに、より実りのあるものになると考えています。

秋のこどもまんなか月間「子供・若者育成支援推進強調月間」は、子供と若者の成長と発展を支える重要な取り組みであり、この月間を通じて、誹謗中傷の害を改めて認識し、その回避の重要性について、ここでみなさんに聞いていただくことが私にできる数少ないことのひとつだと思います。誹謗中傷のないコミュニケーションの重要性を理解し、それを実践することで、子供と若者の未来をより明るく、支えていきたいと思っています。

令和5年11月23日

京都府立南陽高等学校
生徒会代表 浅野 竜 翔